



# 漫 録

## 道 路 景 觀



### 池 本 泰 兒

道路景觀と題して何かと引き續いて書いて見たいと意氣込んで其の一回を六月號に出して貰つたのだが、私は突然六月十五日に内務省下關土木出張所勤務を命ぜられた。そして下關土木出張所では佐世保市の國道工事と長崎市の國道工事とを擔當する様になつたのである。早急な赴任のために筆を採る程の餘猶もなかつたので、七月號に之れ迄私ものを讀んで居て下さつた方に御挨拶でも投稿したいとは思つて居たけれど遂ひ其の餘暇を見出し得ず其の儘になつてしまつた。もう殆んどあれから一ヶ月を経て多少暇も

出來たので此處に改めて御挨拶申し上げたいと思ふ。

私は随分長い間内務省土木局の方に働かせて貰つてゐたので其處の關係で随分澤山の方のお世話になつた。又道路改良會からもお世話になつた。殊に本誌では私の雜文を嫌がりもせずによく載せて頂いた。就ては夫れを各方面の方に讀んで頂く光榮をも持つた。

本省の方に居たものだから、自然一般の仕事を見る機會も多かつたので、自分に夫れが出来るか出来ないか知らないが、其の仕事に就て勝手な批評もした。随分憤られもし

たものだ。然し私は之れまで決して投稿を匿名でした事はない。私は自分を明かに表明して物を言つた。處で今度は自分で仕事をする様になつたのである。今から私には自分が今まで云つた様に自分の仕事が出来るかどうかは自分にも判らない。然し私は私の仕事には各位から充分の批判が頂ける事を望んでゐる。

土木技術者となつて此の度現場の仕事をするには實際本懐に思ふ。私はもう長い間現場の仕事をしたいと希んで居た。其の機會を此度與へられたのである。私は全力を擧げて自分の仕事をやつて見るつもりである、又長い間私はお前は技術屋かとも云はれたものである。私は到底土木工學に關する學者にはなり得ないけれども土木技術者であるといふ誇は此の十年の餘も現場には出して貰えなかつたけれども持ち續けて居た。そして現場の仕事を自分でも立派に處理出来る又やつて見せると思つても居た。今は其の機會を得た。私は専心夫れをやつて見る考へである。

處で今度現場に出るに就ては私は忠告を受けた。お前は

今迄だつて随分雜文を書き過ぎた。夫れだから技術屋かと言はれたのだ。今度現場へ出たに就ては少し書く事を控へたらどうか、幾ら仕事を一生懸命にやつたとて餘り雜文を書いたりするとあの男は仕事をしないで書いてばかり居ると云はれる。そして仕事の成績は見ても呉れないぞと云はれたのである。私も夫れが今の世間では普通の事だと云ふ事も知つて居る。

だが自分だけの考へから云ふならば、仕事をするに云ふ事と書くに云ふ事とは夫れ程密接な關係があるものでないと思つて居る。即ち仕事を一生懸命やつて居れば書く暇なんてあるものでないとは云へないと思ふ。又書く事に依て仕事がおろそかになると云ふ事も云へないと思ふ。道路改良會の唱導する日本道路の改善なる趣旨は私の使命とする處と全く一致して居る。私は本誌のためになら暇さへあれば之れからも何かを書きたいと思ふのである。

次に現場に居れば書く暇がないと云はれてゐる事をも自分で實驗して見たいとも思つて居る。若し夫れが眞なら今

まで私は本省に居て暇ばかりだつたといふ事にも成る。其の様に思はれる事は私として耐へ得ない處である。元より私は本省に居て人並には働けなかつたけれども自分では自分の仕事だけは處理して來たと信じて居る。暇を持ちあぐんで雜文を書いて居たと云はれたくない。

夫れで出来るならば、道路に關する思ひつきを少しづつなりとも引き續き投稿させて貰ひたいと思つてゐる。十年もの間見て來た道路の事を思ひ出し思ひ出し書いて見たいと思ふ。又當然自分處の仕事をも御紹介させて頂きたいと思ふ。

御挨拶を書きたいと思ひながらとうとうこんな事を書いた了つた。

どうぞ私が本省に居た時の様に充分の御庇護を將來も御願ひしたい。

#### 門澤技師に

もうあなたから事務のお引継ぎを受けてから一ヶ月にもなりません。お變りもなく新しい仕事に御精勵の事と存じ

ます。

長崎地方はあれから殆んど雨が降りません。降つたこともありますが極く短い時間の驟雨があつたと云ふ程度です。佐世保市などは水道が涸れて目下午後一時から七時までの六時間給水をやつてゐる様な有様です。

御承知の様に長崎國道には今徳蓮橋の支保工が組んでありますから水に出られては困るのですが、斯う雨の降らないのも何かやり切れないものがあります。二三度降つた驟雨でも雨といふ感じはまるきり致しません。軽い程度の搬水と云ふ様に思はれます。日本は雨の多い國だとは云ひますが、日本人は矢張り雨の日も好きなのです。餘り降らないと土木屋でさへも何か物足らなく感ぜられます。然かも燃えつく様な暑さですから現場に働いて居る人は總て水の中から上つて來た様に汗になつてゐます。工用の水道の蛇口に口を當て、ぐんぐん水を呑んで居ます。

もう日見隧道から、諫早寄りの追加鋪裝工事も濟みました。お諏訪様前の廣場の工事もだいたい眼鼻がついて來まし

だ。徳蓮橋の混凝土も打ち初めました。お天氣がいゝので  
仕事はぐんぐんはかどります。

あなたとしては此處まで準備段取りをして置いて、其の  
完成を待たずに轉動せられたことを嘸かしお心残りであつ  
たらうと存じます。だが私にとつては、初めて現場の仕  
事をするにあたつて、斯くも準備の出來た後へ來たのです  
から、唯其の仕事の面白い様に進捗するのを見學させて頂  
いて居ればいゝので、ほんとうに幸せでした。拱橋も三つ  
もあつて夫々工程が違ふものですから拱橋の架け方を一時  
に知り得るの便宜も得ました。舗装工事も随分智識を得ま  
した。舗装工事と云へば、未だ瀝青舗装の施工の暫く遅れ  
る處がありますね。中川橋と徳蓮橋との間です。全體の仕  
事が繰越されたのですから其の舗装工事もおくれるのは當  
然です。

此の舗装工事は大倉土木株式會社で請負つて貰つたもの  
ですが、其處の支配人が私の處へ來て、お前の處は請負期  
間が切れても尙請負つた仕事をする事が出來ない。自分

の處としてはさう便々と何時までも夫れを待つて居る譯に  
行かない。此の際解約して呉れないかと云つて來ました。

會社側から云へば理屈は當然あります。純理で行けばさ  
う申し出るのが正しいと私も考へます。然し土木屋として  
自分の仕事を半端で中止し様とする考へ方がどうして出來  
るものかと思ひました。こちらは迷惑を出來るだけ掛けた  
くないと思つて鋭意其の進捗に努力して居り、又其の遅れ  
たのが材料が天候の關係から入らなかつた爲めであり、其  
の苦痛は會社側に對ても同様に體驗して充分判つて居る筈  
でせう。土木請負者氣質と云ふものは其の様なものであら  
うかと現場仕事に初めての私は驚いて了ひました。土方  
精神と云ふものは其の様なものでない。男達を持つ今日唯  
一の仕事師が土木屋であると信じて居た私は此の大倉土  
木の申出にほんとうに憤慨するよりも寧ろ相手になること  
に侮辱を感じました。

夫れで私はいゝとも悪いとも私からはお返は出來ない。  
勝手に手續を採つて下さいと申して置きました。

此の處分は本所でやつて呉れませう。私としては充分に其の對策は考へて居ります。御承知の様に、之れまで遣つて呉れた現場の仕事は立派なものです。私の幼稚な眼で見てもさへ其の出來派へは立派なものであります。現場の擔當者は熱心にやつて呉れ、又夫れを仕上げたいと思つて居ると思ひます。唯純理で處理し様とする本社事務的の取り扱ひであらうと思つて居ます。

聞ゐた處に依りますと大倉土木は山口國道の鋪裝を施工して此の竣功期間が遅れたために、三千圓の違約金を納めさせられたんださうですね。其の腹いせを此處へ持つて來たのでないかと思はれます。尤も山口國道で違約金を徴められたために、其の名譽恢復のため長崎國道には立派なプラントを持ち込み此處こそ立派にやつて見せ様と意氣込んで居たとも云ひます。夫れをこちらの都合でおくれたものですから何か云はなければ納まらなかつたんでせう。

江戸の敵を長崎で打つと云ふ事があります。私は觀面山口の敵を長崎で打たれた譯です。私が江戸から長崎に來た

と云ふことも何か其處に因縁があつた様に思はれないでもありません。實際の處私は江戸から長崎に來たのですから大倉土木のみならず、方々から敵を打たれる事とせう。面白いことになりました。

佐世保國道は御承知の様に工費の八割は用地費と物件移轉費とです。それであれからすつと引き續き其の調査をして居ます。其の調査は仲々精密なものであると思ひました。然しもう九分通りは完成して居ます。

所員の方達も皆良く働いて呉れて居ます。私にも未だ判つきりと其の人達の性質がどんな風なのかは解りませんが大體お知り合ひになりました。皆氣心も合つて働いて居る様です。お蔭で仕事もぐんぐん抄取つて居ますから御安心下さい。

又其のうちにもつと様子が解れ、ば色々御報告申し上げます。今日では之れにて失禮します。

(七月十八日)